

## 平成26年度 新潟市子ども・子育て会議 開催状況

## 本体会議

| 第1回 新潟市子ども・子育て会議 |  |
|------------------|--|
| 開催日              | 平成26年6月4日（水）   |
| 議事               | (1)会長の選出について<br>(2)新潟市子ども・子育て支援事業計画について<br>(3)基準条例案のパブリックコメント手続き実施について（部会報告） |

## 幼保部会

| 第1回 新潟市子ども・子育て会議 幼保部会 |  |
|-----------------------|--|
| 開催日                   | 平成26年5月29日（木）  |
| 議事                    | 幼保部会関係条例案について  |
| 主な<br>委員意見            | ○幼保連携型認定こども園の調理室設置を義務化する明確な理由を説明してほしい。<br>○小規模保育、家庭的保育は保育の質の確保が重要である。<br>○利用者負担に関する説明を施設向けにしてほしい。    |
| 第2回 新潟市子ども・子育て会議 幼保部会 |  |
| 開催日                   | 平成26年8月21日（木）  |
| 議事                    | (1)子ども・子育て支援新制度にかかる量の見込について<br>(2)新制度に関連した基準条例骨子案への意見と市の考え方について（報告）<br>(3)新制度における保育の必要性の認定基準について（報告） |
| 主な<br>委員意見            | ○保育園などでの一時預かりの量の確保について、各区に拠点施設が必要ではないか。<br>○保育園で一時預かりの受け入れを増やすには、保育士の確保についても考える必要がある。                |

## 放課後児童クラブ検討部会

| 第5回 新潟市子ども・子育て会議 放課後児童クラブ検討部会 |  |
|-------------------------------|--|
| 開催日                           | 平成26年5月23日（金）  |
| 議事                            | (1)国の基準省令と新潟市の条例に定める基準について<br>(2)放課後児童健全育成事業見込量の算出方法について   |
| 主な<br>委員意見                    | ●国の基準省令と新潟市の条例に定める基準について<br>○子どもたちの放課後の居場所確保には、地域の協力と理解も必要である。<br>○保護者と子どもと一緒に過ごすことは大事であるが、女性の就労が求められる時代。時間延長が可能な文言を条例に入ることが必要ではないか。<br>○現在のガイドラインは、高学年受入れが決まる前のもの。高学年は体格が大きくなることを考慮しなければならない。<br>○高学年受入れ、障がい児への配慮などフォローする体制作りが必要。<br>○支援員の資格を明記し、員数を定めることで質が担保できる条例となる。 |

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
|                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●量の見込みについて</li> <li>○区毎に算出すると区の特徴が見えてくる。</li> <li>○現状を捉えた場合の数値なので、毎年最新のデータに基づいて、見込み量を更新し、把握することが必要である。</li> </ul>   |
| <b>第6回 新潟市子ども・子育て会議 放課後児童クラブ検討部会</b> |  |
| 開催日                                  | 平成26年7月15日（火）  |
| 議事                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)国の基準省令と新潟市の条例に定める基準について</li> <li>(2)ひまわりクラブの運営について</li> </ul>  |
| 主な<br>委員意見                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●基準条例について</li> <li>○補助員は専門職ではないので、各施設に放課後児童支援員を2人以上とした方がよいのではないか。</li> <li>○子育て支援員は、職員確保のための補助員の規定と思われるが、放課後児童クラブの質の担保は必要。</li> <li>○子育てした方だけでなく、子どもたちに関わってみたいという地域の方は、たくさんいる。意欲のある方が参加できるよう、新潟市独自の資格を設けてはどうか。</li> <li>○設備の基準について「便所等の共有部分は含まず」とした方が明確である。</li> <li>●ひまわりクラブの運営について</li> <li>○利用者の増加を抑えるために、利用料を値上げするののかという印象。値上げにより、利用しなくなった子が1人で留守番をするのは心配。値上げは避けてほしい。指導員の待遇改善に必要であるなら、減免を見直したらどうか。</li> <li>○本当に必要な方たちの放課後児童クラブにしていくためには、ある程度のご負担をいただき、責任を持って子どもをみていく必要もあると感じた。</li> <li>○子どもたちの成長にかかる費用は、高くない方がいいと思うが、子どもが健全に育つのに必要な管理運営を行うためには、適切な利用料の算出により、ある程度の負担はしていかなければならないと思う。</li> </ul> |

## 地域ネットワーク部会

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <b>第4回 新潟市子ども・子育て会議 地域ネットワーク部会</b> |   |
| 開催日                                | 平成26年7月23日（水）   |
| 議事                                 | 新潟市における「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みについて  |
| 主な<br>委員意見                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○国の手引きによる量の見込みの算出よりも、事務局の提案のように、これまでの実績や区ごとの事情等を考慮して算出すべきである。</li> <li>○子育て短期支援（ショートステイ）事業の量の見込みの算出の仕方を再検討すべきではないか。</li> <li>○現在実施していない養育支援訪問事業については、乳幼児全戸訪問事業と連携させ、実施の方向で検討すべきではないか。</li> <li>○量の見込みと施策の検討にあわせて、各事業（施策）の効果や成果をはかる指標の導入も検討すべきではないか。</li> </ul> |
| <b>第5回 新潟市子ども・子育て会議 地域ネットワーク部会</b> |   |
| 開催日                                | 平成26年8月26日（火）   |
| 議事                                 | 部会の検討事項における子ども・子育て支援事業計画（素案）について  |